

# CAL Suite Bridge

この簡易ガイドは、すべてマイクロソフト ボリューム ライセンス プログラムに適用されます。

## 目次

概要	1
この簡易ガイドの更新情報	1
詳細	2
はじめに	2
ワークロードとライセンスのしくみ	2
オンプレミス製品からオンライン サービスへの切り替え	6
CAL Suite Bridge の概要	7
CAL Suite Bridge によるオンライン サービスへの切り替え	8
各 CAL Suite Bridge MSU に含まれるコンポーネント CAL	8
各 CAL Suite Bridge の顧客シナリオの例	12
その他のシナリオとよく寄せられる質問	12

## 概要

Microsoft CAL (Client Access License) Suite Bridge は、CAL スイートによるオンプレミス製品の利用を、同等の製品およびオンライン サービスの併用に切り替える場合に使用されます。

## この簡易ガイドの更新情報

この簡易ガイドは、2015 年 12 月に発行されたドキュメントの改訂版です。

# CAL Suite Bridge の概要

## 詳細

### はじめに

Microsoft CAL (Client Access License) Suite Bridge を使用すると、CAL スイートによるオンプレミス製品の利用を同等の製品およびオンライン サービスの併用に切り替えられます。そのため CAL Suite Bridge ライセンスでは、Microsoft Office 365 や Enterprise Mobility Suite といったクラウド サービスには含まれていない、CAL スイートのみが対応するワークロードもサポートされます。CAL スイートを購入済みのお客様が CAL Suite Bridge に切り替えると、オンプレミスのワークロードに対する既存のマイクロソフト ソフトウェア アシユアランスの契約条件、全社契約、対応するプラットフォーム割引が引き続き維持されます。

CAL Suite Bridge は、オンプレミス製品から同等のオンライン サービスへの切り替え、またはその逆の切り替えを可能にする 1 か月単位のサブスクリプション ユニット (MSU) です。そのため、購入には次の利用資格を満たす必要があります。

- 各 CAL Suite Bridge ライセンスを、条件を満たすオンライン サービスと購入する場合にのみ、CAL スイートの全社契約の要件を満たせます。
- CAL Suite Bridge を購入するには、CAL スイート (Microsoft Core CAL Suite または Microsoft Enterprise CAL Suite) のソフトウェア アシユアランスが有効でなくてはなりません。

CAL Suite Bridge の購入資格のないお客様については、ボリューム ライセンス プログラムのマイクロソフト製品/サービス契約 (MPSA) を通じ、個々のテクノロジー ライセンスまたはサブスクリプション サービスを購入できます。

### ワークロードとライセンスのしくみ

CAL Suite Bridge の役割やしくみ、重要性についてきちんと理解するには、マイクロソフトのオンプレミス製品についてライセンスの取得方法を理解しておくことが大切です。また、そうしたオンプレミス製品とマイクロソフトのオンライン サービス (Office 365 や Microsoft Intune など) とのライセンス体系の違いを知っておくことも役立ちます。

#### マイクロソフトの製品群と "スタック"

マイクロソフトの製品群は複数の主要ワークロードで構成され、基盤となるオペレーティング システムからクライアント デスクトップ アプリケーション (Microsoft Office など) まで、各種ワークロードをカバーしています。ワークロードは階層ごとにグループ分けされており、その関係は "スタック" として表すことができます。

# CAL Suite Bridge の概要

Workload	Product(s)
Office Productivity	Office
Productivity Servers	Exchange Server, SharePoint Server, Skype for Business
Servers OS / AD	Windows Server
Management & Security	System Center
Client OS	Windows

図 1：複数の主要ワークロードから成るマイクロソフトの製品 "スタック"。各ワークロードには 1 種類以上の製品ファミリ (Microsoft Office、Microsoft Exchange Server など) が含まれます。各製品ファミリはさらに、独立した 1 つ以上の製品またはテクノロジー (Microsoft Office Excel 表計算ソフトウェア、Exchange Server Standard Edition など) で構成されます。

## オンプレミス マイクロソフト製品のライセンスの取得

マイクロソフトは従来、オンプレミスに導入される製品について、製品スタック階層を次のようにグループ分けしてライセンスを提供していました。

- Office 製品：Microsoft Office は、クライアント デバイスに直接インストールされる従来のデスクトップ アプリケーションです。
- CAL スイート：製品スタック内の各基盤サーバー製品に必要となる CAL (クライアント アクセス ライセンス) を提供します。
- クライアント オペレーティング システム：Windows はクライアント デバイスに直接インストールされるオペレーティング システムです。

# CAL Suite Bridge の概要

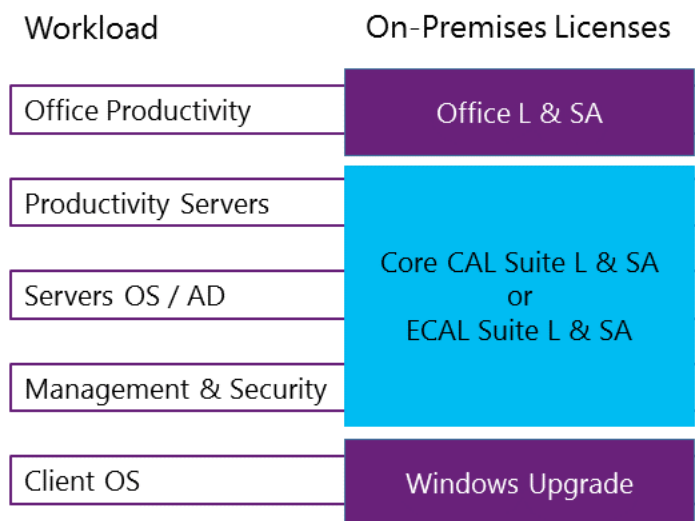


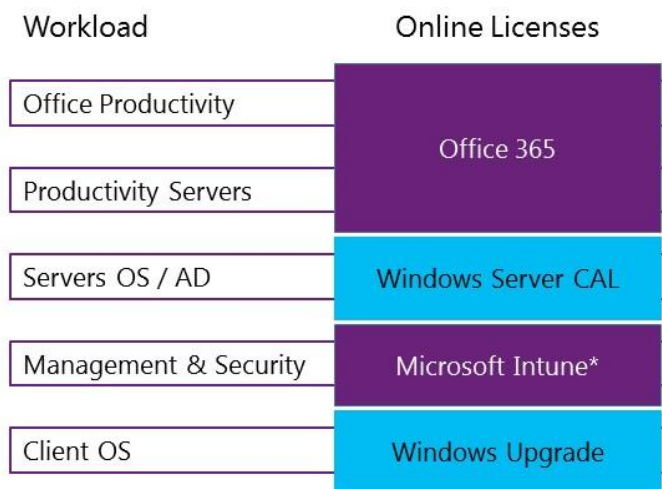
図 2：オンプレミス製品のライセンスの取得に関し、製品スタックは 3 つのコンポーネントに分類されます。Microsoft Office については、スタンドアロンのクライアントアプリケーションとしてライセンスを取得します。一方、基盤となるプロダクティビティサーバーおよびインフラストラクチャサーバーへのアクセスについては、CAL スイートでライセンスを取得します。Windows オペレーティングシステムはクライアントデバイスにインストールされます。

# CAL Suite Bridge の概要

## オンライン マイクロソフト製品のライセンス体系

ソフトウェア サービスとして提供される Office 365 や Windows Intune はサブスクリプション式のソフトウェアで、サーバーとデスクトップの両方のアプリケーションに対する使用権が含まれます。一方、従来のオンプレミス ソフトウェアの場合は、サーバー用とデスクトップ用に別々のライセンスが必要です。

たとえば Office 365 は、ユーザー向けの包括的な "サービス製品" です。サービス製品では必ず単一のユーザー サブスクリプション ライセンス内に必要なワークロードの両方 (Microsoft Office アプリケーションおよびプロダクティビティ サーバー) が含まれています。そのためオンライン製品スタックのライセンスは、オンプレミス製品とは異なる方法で取得します。



\*Microsoft Intune includes System Center Configuration Manager and System Center Endpoint Protection

図 3：オンライン製品 (オンライン サービス) のライセンスの取得に関し、製品スタックは 3 つのコンポーネントに分類されます。Office スイートとプロダクティビティ サーバーのライセンスは Office 365 でまとめて提供されますが、基盤となるセキュリティ サーバーと管理サーバーについては Microsoft Intune を通じてライセンスを取得します。Windows Server オペレーティング システムの CAL には相当するオンライン サービスがないため、引き続き従来 (オンプレミス製品用) の Windows Server CAL を通じてライセンスを取得します。

# CAL Suite Bridge の概要

## オンプレミス製品からオンライン サービスへの切り替え

クラウド サービスへの切り替えには Microsoft Enterprise Agreement (EA) が便利です。EA を使用すると、既存のライセンス (および現行のソフトウェア アシュアランス) を同等のサブスクリプション サービス (Office 365、Enterprise Mobility Suite、Windows Intune など) のライセンスへと簡単に移行できます。より正式には、切り替えは次のように定義されます。

切り替えとは、同等のワークロードに対応したサブスクリプション ライセンスへと現行のソフトウェア アシュアランスを含めてライセンスを切り替えること。または、その逆の切り替えを行うこと。

お客様のライセンスをオンプレミス製品からオンライン サービスへと切り替える場合には、CAL スイートを "分割" し、ライセンスの取得方法をオンライン サービスと揃える必要があります。具体的には、CAL スイートを通じてライセンスを取得していたワークロードを同等のオンライン サービス (Office 365 など) へと移行し、同等のオンライン サービスがないワークロードについてはオンプレミスで実行します。オンプレミスのワークロードは CAL Suite Bridge でカバーされます。その結果、Office 365、Enterprise Mobility Suite、Windows Intune に含まれない CAL スイート ワークロードのすべてに対し、現行のオンプレミスライセンスとアクセス権を維持することができます。

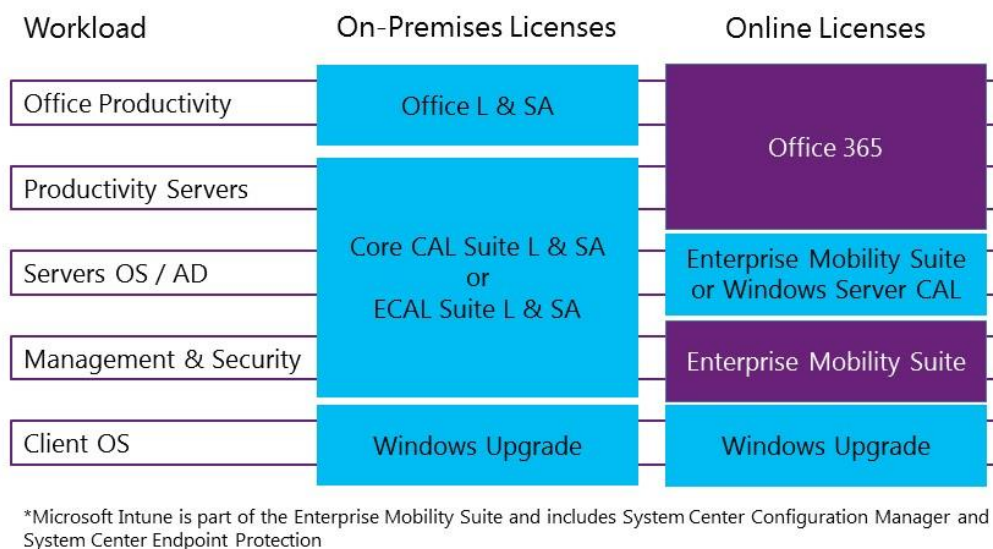


図 4: お客様のライセンスをオンプレミス製品から同等のオンライン サービスへと切り替える場合には、CAL スイートを "分割" し、ライセンスの取得方法をオンライン サービスと揃える必要があります。たとえば Office 365 には、Office アプリケーションとプロダクティビティ サーバーの両方のワークロードの要素が含まれます。そのため、お客様が Office 365 に切り替えた場合には、Office 365 によって Office アプリケーション ワークロード (Microsoft Office など) とプロダクティビティ サーバー ワークロード (Exchange Server など) のライセンスを取得できます。残りのセキュリティ、管理、オペレーティング システムの各ワークロードについては、対応する CAL Suite Bridge を通じてライセンスを取得します。

# CAL Suite Bridge の概要

## CAL Suite Bridge の概要

CAL Suite Bridge には、Office 365 または Enterprise Mobility Suite でカバーされない CAL スイート ワークロードが含まれます。CAL スイートを購入済みのお客様が CAL Suite Bridge に切り替えると、オンプレミスの CAL スイート ワークロードに引き続きアクセスすると共に、オンプレミスのワークロードに対する全社契約要件を満たし、対応するプラットフォーム割引を継続して利用できます。

### メリット

CAL Suite Bridge には主に、次の 3 つのメリットがあります。

- オンプレミス製品へのアクセス権の維持: CAL スイート (Core CAL Suite/Enterprise CAL Suite およびソフトウェア アシュアランス) を既に購入済みのお客様が、Enterprise Mobility Suite または Office 365 の各オンライン サービスには含まれていない CAL スイート ワークロードへのアクセス権をそのまま維持できます。
- 全社契約の資格: 対応するエンタープライズ オンライン サービスと CAL Suite Bridge を組み合わせることで、Core CAL Suite および Enterprise CAL Suite の全社契約の要件を満たせます。
- エンタープライズ割引の維持: CAL Suite Bridge に切り替えると、移行前のスイートと同等レベルのエンタープライズ割引およびプラットフォーム割引が受けられます。

## CAL Suite Bridge のライセンス構造

CAL Suite Bridge のライセンス構造は、既存の Microsoft CAL スイートのライセンス構造と変わりません。具体的には、次の条件が適用されます。

- 初期購入時には 1 か月単位のサブスクリプション ユニット (MSU) として購入できます。
- ライセンスはユーザー単位で提供されます。
- エンタープライズ製品として、全社レベルの割引とプラットフォーム割引が適用されます。

## CAL Suite Bridge の購入方法

CAL Suite Bridge を購入するには、次の資格要件を満たす必要があります。

- エンタープライズ オンライン サービス条項が有効な Enterprise Agreement 修正契約または 2011 年 7 月以降の新しい Enterprise Agreement に基づく
- Core CAL Suite または Enterprise CAL Suite の全社契約
  - Office 365 または Enterprise Mobility Suite に割り当てられるユーザーおよびデバイスには、フル ライセンスの CAL スイートの代わりに、適切な CAL Suite Bridge を割り当てます。各 CAL Suite Bridge ライセンスを、条件を満たすオンライン サービスと購入する場合にのみ、CAL Suite Bridge または親の CAL スイートの全社コミットメント契約の要件を満たせます。
  - オンプレミスのユーザーとデバイスが、ソフトウェア アシュアランスの有効な CAL スイート ライセンスの対象でなくてはなりません。

[ライセンスの切り替え](#)によって CAL Suite Bridge が必要な場合は、加入契約の応当日に、CAL Suite Bridge のユーザー単位のサブスクリプション ライセンスを購入することで切り替えが有効になります。この場合は、条件を満たすオンライン サービスのユーザー サブスクリプション ライセンス (USL) 1 件につき、CAL Suite Bridge の USL 1 件の比率でのみライセンスの切り替えを行えます。CAL Suite Bridge の購入資格のないお客様については、マイクロソフト製品/サービス契約 (MPSA) を通じ、個々のテクノロジー ライセンスまたはサブスクリプション ライセンスを購入できます。

# CAL Suite Bridge の概要

## CAL Suite Bridge によるオンライン サービスへの切り替え

CAL Suite Bridge は、CAL スイートを同等の製品およびオンライン サービスの併用に切り替える場合に使用される内部処理用の SKU です。CAL Suite Bridge は条件を満たすオンライン サービスのみとしか購入できません。

次の表に、元の CAL スイートがそれぞれ Core CAL Suite と Enterprise CAL Suite の場合に、条件を満たすオンライン サービスおよび必要となる CAL Suite Bridge の種類を示します。

元の CAL スイート	条件を満たすオンライン サービス	CAL Suite Bridge (必須)
Core CAL Suite	Office 365 E1 または Office 365 E3 または Office 365 E5	Core CAL Suite Bridge for Office 365
Core CAL Suite	Enterprise Mobility Suite E3 または Enterprise Mobility Suite E5	Core CAL Suite Bridge for Enterprise Mobility Suite
Core CAL Suite	Microsoft Intune	Core CAL Suite Bridge for Microsoft Intune
Core CAL Suite	Office 365 E1、E3、E5 のいずれか、および Microsoft Intune	Core CAL Suite Bridge for Office 365 and Microsoft Intune
Enterprise CAL Suite	Office 365 E3 または Office 365 E5	Enterprise CAL Suite Bridge for Office 365
Enterprise CAL Suite	Enterprise Mobility Suite E3 または Enterprise Mobility Suite E5	Enterprise CAL Suite Bridge for Enterprise Mobility Suite
Enterprise CAL Suite	Microsoft Intune	Enterprise CAL Suite Bridge for Microsoft Intune
Enterprise CAL Suite	Office 365 E3 または E5、および Microsoft Intune	Enterprise CAL Suite Bridge for Office 365 and Microsoft Intune

## 各 CAL Suite Bridge MSU に含まれるコンポーネント CAL

### CAL Suite Bridge for Enterprise Mobility Suite

次の表に、CAL Suite Bridge for Enterprise Mobility Suite でライセンスを提供可能な CAL スイートのオンプレミステクノロジーを示します。

Enterprise Mobility Suite および従来のオンプレミス サーバー インフラストラクチャでサポートされるテクノロジー機能の比較について、詳しくは [Enterprise Mobility Suite のサービス](#)の説明を参照してください。



# CAL Suite Bridge の概要

ワークロード	製品	Core CAL Suite Bridge for Enterprise Mobility Suite	Enterprise CAL Suite Bridge for Enterprise Mobility Suite
Office 製品	Office		
プロダクティビティ サーバー/サービス	Exchange Standard CAL	☑	☑
	サービス付きの Exchange Enterprise CAL		☑
	Skype for Business Standard CAL	☑	☑
	Skype for Business Enterprise CAL		☑
	SharePoint Standard CAL	☑	☑
	SharePoint Enterprise CAL		☑
	Exchange Online Archiving for Exchange Online		
	Exchange Online Archiving for Exchange Server		☑
サーバー オペレーティング システム/ Active Directory	Windows Server CAL	☑	☑
	Windows Server RMS CAL		☑
管理、 セキュリティ	System Center Configuration Manager CML	Enterprise Mobility Suite	Enterprise Mobility Suite
	System Center Endpoint Protection CML		
	Advanced Threat Analytics CML	Enterprise Mobility Suite	☑
クライアント オペレーティング システム	Windows アップグレード権		

## CAL Suite Bridge for Office 365

次の表に、CAL Suite Bridge for Office 365 でライセンスを提供可能な CAL スイートのオンプレミス テクノロジを示します。Office 365 および従来のオンプレミス サーバー インフラストラクチャでサポートされるテクノロジー機能の比較について、詳しくは [Office 365 サービスの説明](#) を参照してください。

# CAL Suite Bridge の概要

ワークロード	製品	Core CAL Bridge for Office 365	Enterprise CAL Bridge for Office 365
Office 製品	Office		
プロダクティビティ サーバー / サービス	Exchange Standard CAL	Office 365	Office 365
	サービス付きの Exchange Enterprise CAL		
	Skype for Business Standard CAL		
	Skype for Business Enterprise CAL		
	SharePoint Standard CAL		
	SharePoint Enterprise CAL		
	Exchange Online Archiving for Exchange Online		
	Exchange Online Archiving for Exchange Server		☑
サーバー オペレーティング システム / Active Directory	Windows Server CAL	☑	☑
	Windows Server RMS CAL		☑
管理、セキュリティ	System Center Configuration Manager CML	☑	☑
	System Center Endpoint Protection CML	☑	☑
	Advanced Threat Analytics CML		☑
クライアント オペレーティング システム	Windows アップグレード権		

# CAL Suite Bridge の概要

## CAL Suite Bridge for Office 365 and Enterprise Mobility Suite

次の表に、CAL Suite Bridge for Office 365 and Enterprise Mobility Suite でライセンスを提供可能な CAL スイートのオンプレミス テクノロジを示します。

ワークロード	製品	Core CAL Bridge for Office 365 and Enterprise Mobility Suite	Enterprise CAL Bridge for Office 365 and Enterprise Mobility Suite
Office 製品	Office		
プロダクティビティ サーバー/サービス	Exchange Standard CAL	Office 365	Office 365
	サービス付きの Exchange Enterprise CAL		
	Skype for Business Standard CAL		
	Skype for Business Enterprise CAL		
	SharePoint Standard CAL		
	SharePoint Enterprise CAL		
	Exchange Online Archiving for Exchange Online		
	Exchange Online Archiving for Exchange Server		☑
サーバー オペレーティング システム / Active Directory	Windows Server CAL	☑	☑
	Windows Server RMS CAL		☑
管理、 セキュリティ	System Center Configuration Manager CML	Enterprise Mobility Suite	Enterprise Mobility Suite
	System Center Endpoint Protection CML		
	Advanced Threat Analytics CML	Enterprise Mobility Suite	☑
クライアント オペレーティング システム	Windows アップグレード権		

# CAL Suite Bridge の概要

## 各 CAL Suite Bridge の顧客シナリオの例

### CAL Suite Bridge for Enterprise Mobility Suite

**シチュエーション：**Core CAL Suite を購入済みで、Microsoft Exchange Server および Microsoft SharePoint Server をオンプレミスに導入しているお客様がいます。このお客様は Enterprise Mobility Suite サービスを使用し、自社のすべての PC を管理したいと考えています。一方、Exchange Server と SharePoint Server はオンプレミスに残し、これらのワークロードを Office 365 に移行しようとは思っていません。

**ソリューション：**この Core CAL Suite のお客様は、自社のすべての PC に対して Enterprise Mobility Suite のサブスクリプション ライセンスを購入します。さらに Core CAL Suite Bridges for Enterprise Mobility Suite を購入し、Enterprise Mobility Suite サブスクリプション サービスに含まれていない Exchange Server、SharePoint Server、Windows Server の各オペレーティング システム機能に対するライセンスを取得します。

### CAL Suite Bridge for Microsoft Office 365

**シチュエーション：**Enterprise CAL Suite を購入済みで、電子メール、コミュニケーション、コラボレーションの機能を Office 365 に移行したいと考えているお客様がいます。このお客様は現在、Microsoft Exchange Server および SharePoint Server をオンプレミスに導入しており、引き続きオンプレミスの Microsoft System Center Configuration Manager インフラストラクチャを使用して、社内の PC を管理したいと考えています。さらに、引き続き Windows Active Directory Rights Management サービスを利用して守秘性の高い電子メールを保護するために、Office 365 に移行しても現在の Active Directory 構造を維持する必要があります。

**ソリューション：**クラウド対応の電子メール、コミュニケーション、コラボレーションの機能を必要とするすべてのユーザーは Office 365 のサブスクリプション ライセンスを購入します。Enterprise CAL Suite に含まれている System Center Configuration Manager、Active Directory Rights Management、Windows Server Active Directory の機能は Office 365 サブスクリプション サービスのライセンスには含まれません。そのため、適切な数の Enterprise CAL Suite Bridge for Office 365 または Enterprise Mobility Suite を購入し、対象の機能のライセンスを取得する必要があります。

### CAL Suite Bridge for Microsoft Office 365 and Enterprise Mobility Suite

**シチュエーション：**現在、Windows Server、Exchange Server、SharePoint Server、System Center Configuration Manager など、Core CAL Suite のすべての機能を使用しているお客様がいます。このお客様は Office 365 と Enterprise Mobility Suite の両オンライン サービスにインフラストラクチャを移行する一方、実装済みの Active Directory をそのまま維持し、Enterprise Mobility Suite および Office 365 と併用したいと考えています。

**ソリューション：**適切な数の Office 365 ユーザー サブスクリプション ライセンスを購入し、クラウド対応の電子メールとコラボレーション機能のライセンスを取得します。また、クラウド経由で管理するデバイスの数に合わせ、適切な数の Enterprise Mobility Suite サブスクリプション ライセンスも購入します。さらに、Windows Server Active Directory の機能を引き続き使用するために、Core CAL Suite Bridge for Office 365 と Enterprise Mobility Suite ライセンスを取得します。

## その他のシナリオとよく寄せられる質問

CAL Suite Bridge が適切に割り当てられていない場合はどうなりますか。

Core CAL Suite または Enterprise CAL Suite の全社契約を結ぶには、Office 365 または Enterprise Mobility Suite のユーザーに適切な CAL Suite Bridge を割り当て、全社コミットメント契約の要件を満たす必要があります。お客様は加入契約の期間終了に伴い、CAL スイートのコミットメントを更新しないこともできます。ただしその場合、重要な

# CAL Suite Bridge の概要

CAL および Enterprise Agreement に関する現在のソフトウェア アシユアランスによる保障や、Core CAL のコミットメント契約に基づくプラットフォーム割引は失効します。また、将来 Office 365 に切り替える場合の優待料金も適用されません。こうした特典は、Core CAL Suite または Enterprise CAL Suite のワークロードが、有効なソフトウェア アシユアランスで保障されている場合にも提供されます。

お客様が補正発注の際、Office 365 への切り替えを申し込むと、補正発注プロセスの一環として CAL スイート ソフトウェア アシユアランスの予定支払い数が差し引かれ、代わりに 1 対 1 の比率で CAL Suite Bridge ソフトウェア アシユアランスの定期支払い数が増加します。

同様に、お客様の組織で条件を満たすユーザーとデバイスが増えた場合には、年次補正発注レポートでライセンスを計上する必要があります。対象の新しいユーザーやデバイスが既知の Office 365 アカウントまたは Enterprise Mobility Suite アカウントの場合には、適切な CAL Suite Bridge の補正発注も必要です。

シチュエーション：Professional Desktop Agreement を契約済みのお客様が、ブランチ オフィスのユーザーを Office 365 サービスに移行したいと考えています。ブランチ オフィスのユーザーは総加入者数の 20% のみであり、残りのユーザーは引き続きオンプレミスのテクノロジーを使用する予定です。

選択肢 1：ブランチ オフィスのユーザーを Office 365 に移行し、Core CAL Suite Bridge for Office 365 を割り当てます。これにより、移行するユーザーに対するエンタープライズ製品要件が満たされます。その結果、オンプレミスで使用される残りのすべての Professional Desktop ライセンスについても、エンタープライズ プラットフォーム割引を維持できます。

選択肢 2：ブランチ オフィスのユーザーを Microsoft Office に移行し、Core CAL Suite Bridge for Office 365 は割り当てません。Core CAL Suite Bridge がないと、ブランチ オフィスのユーザー数に相当する加入契約数の 20% に対してエンタープライズ製品要件が満たされません。その結果、残り 80% の Professional Desktop ユーザーに対するエンタープライズ プラットフォーム割引が適用されなくなります。さらに、Office 365 サービスでは提供されないオンプレミス テクノロジーのために、Windows Server CAL を主としたスタンドアロン ライセンスの購入が必要になります。

**Enterprise Agreement の新規顧客が CAL Suite Bridge を購入する場合について教えてください。**

Enterprise Agreement を初めて締結するお客様が Office 365 サブスクリプション ライセンスを購入する場合、次の要領で CAL Suite Bridge を購入できます。

- CAL Suite Bridge と CAL スイート ライセンスを組み合わせ、全社契約の要件を満たします。
- CAL Suite Bridge や CAL スイートの加入料金を全期間分前払いします。

© 2018 Microsoft Corporation. All rights reserved.

このドキュメントに記載された内容は情報の提供のみを目的としています。明示または黙示にかかわらず、この内容に関してマイクロソフトはいかなる責任も負わないものとします。この情報はライセンスを受けた製品を正しく使用いただくためのガイドであり、お客様との契約ではありません。ボリューム ライセンス契約に基づきライセンスを受けた製品の使用については、当該契約に定める契約条件に規定されます。この情報と契約の間に齟齬がある場合は、契約の条項が優先されます。マイクロソフトの代理店を通じて取得するライセンスの価格は、代理店によって決定されます。